

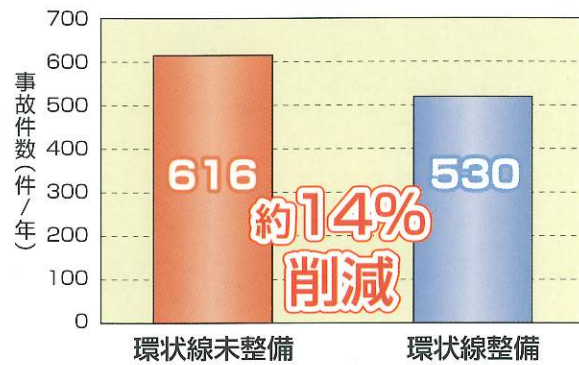
事故削減

渋滞が少なくなれば、追突や右折時などの事故削減も期待されます

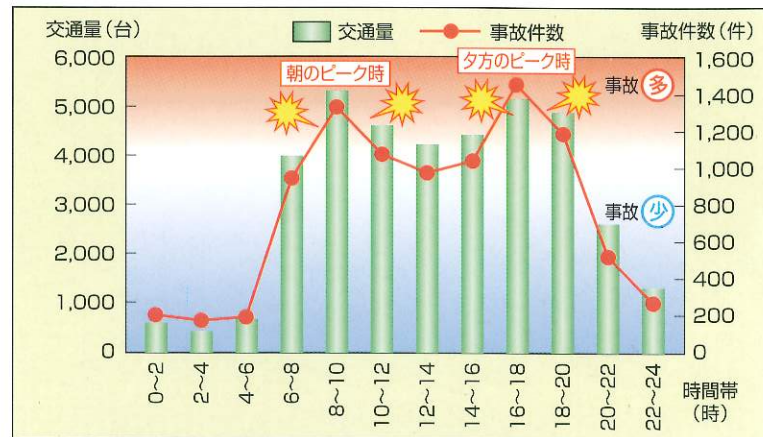
八戸市内では、朝夕の交通混雑時に多くの交通事故が発生しています。

八戸環状線が整備されると、環状線内側の交通量が減少し、朝夕の交通混雑も緩和されることから、事故件数が約14%削減することが期待されます。

特に、交通の流れがスムーズになることで、現状で約5割を占める追突事故等の削減に寄与するものと考えられます。



※八戸環状線内側の事故件数の変化
(平成42年 交通量推計結果 青森県資料)



資料：一般国道45号観測交通量(平成17年交通量調査結果)
八戸警察署管内の時間別交通事故発生件数(交通年鑑あもり)
※交通事故件数は、平成12年～平成16年の合計値

環境改善

もっと快適な八戸の街となることが期待されます

幹線道路沿道の騒音の低減

八戸環状線が整備されると、環状線内側の交通量が減少し、騒音の環境基準が達成される(例：糠塚地区72dB→69dB)など沿道の住居環境の改善が期待されます。

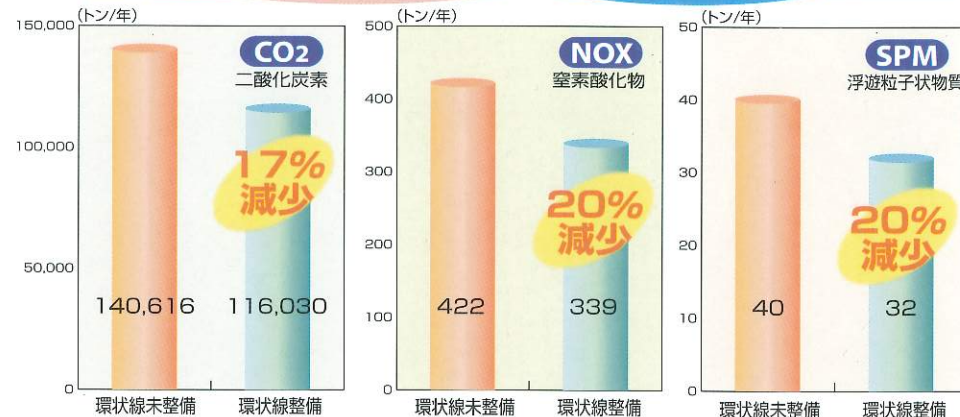


八戸市の自動車排出ガスの削減

八戸市の自動車交通がスムーズに流れることで、自動車排出ガスの排出量を削減することも期待されます。

CO₂の2.5万トン/年の削減は、森林面積約2,100ha(東京ドーム約450個分)のCO₂吸収量に相当します。

※森林(スギ)の1本当たり
年間CO₂吸収量：約14kg
(環境省、林野庁資料)
スギの密度：本/12㎡として算出

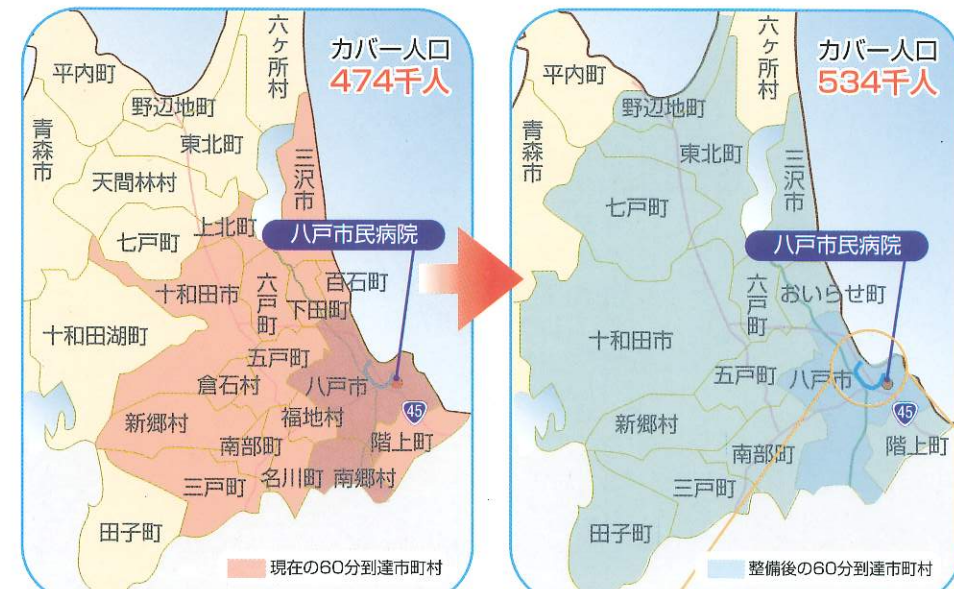


※八戸環状線内側の自動車排出ガスの変化(平成42年 交通量推計結果 青森県資料)

救急医療体制の支援

いざという時に
より早く高度医療病院へ

八戸環状線整備で広がる60分到達圏域

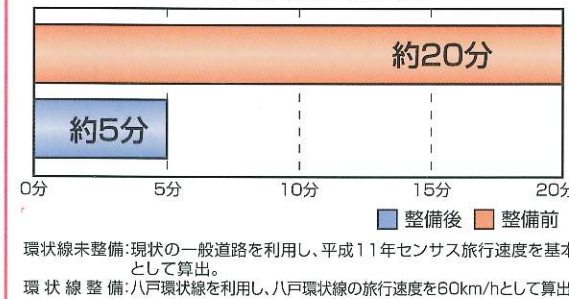


※国土交通省資料(平成16年4月1日現在)

※平成42年の道路ネットワークを想定した60分圏域

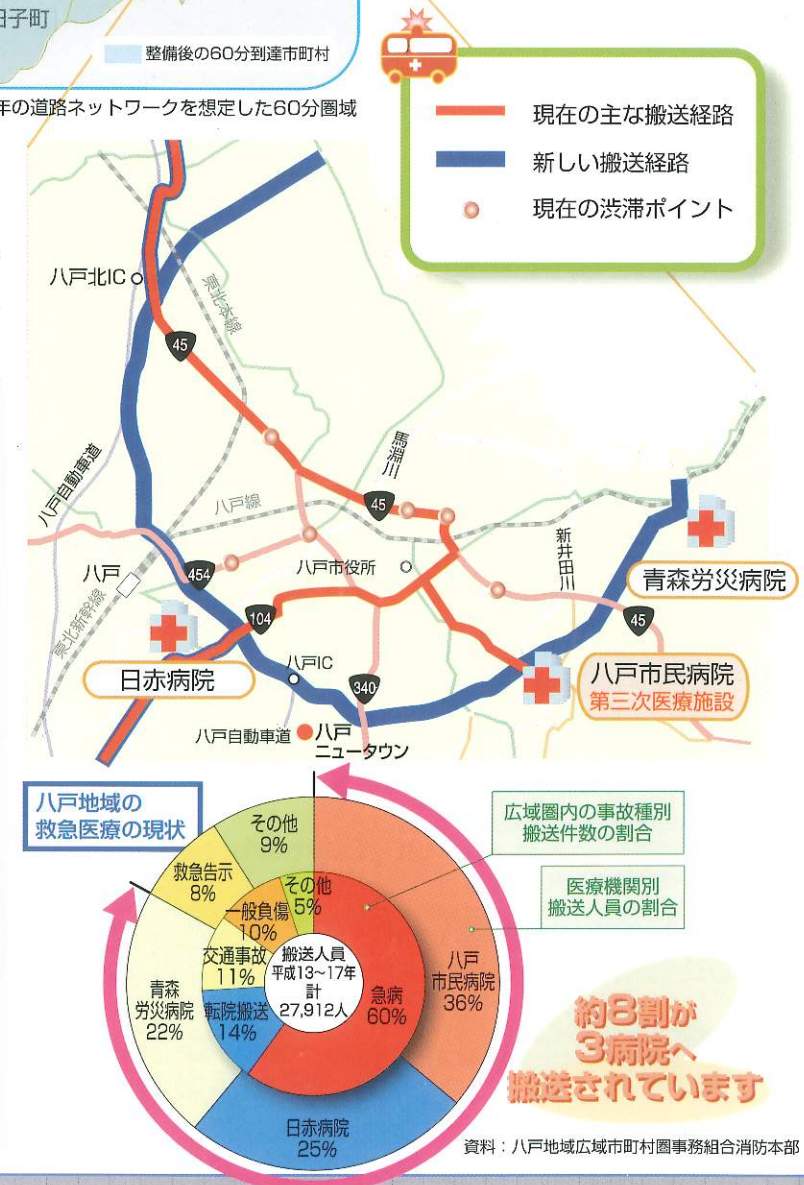
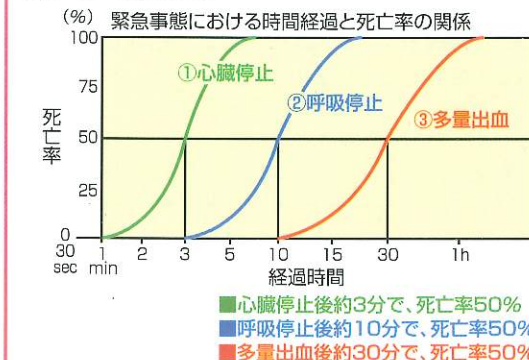
八戸環状線の整備により、八戸市民病院からの60分圏域が拡大(カバー人口が約6万人増加)するとともに、3病院へのアクセスが大幅に改善され、広域の人命救助、救命率の向上など、救急医療体制の支援に寄与するものと考えられます。

◆八戸ニュータウン～八戸市民病院の所要時間



環状線未整備：現状の一般道路を利用し、平成11年センサス旅行速度を基本として算出。
環状線整備：八戸環状線を利用し、八戸環状線の旅行速度を60km/hとして算出。

◆カーラーの救命曲線



資料：八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部



さらに元気な八戸の経済・産業への支援

アクセシビリティの向上

■高速道路へのアクセス

八戸港は、北東北でも有数の物流拠点として、また新産業都市地域の基盤施設として、さらには過去に6度の水揚げ日本一を獲得するなど全国を代表する漁港として重要な役割を担っています。

大型コンテナや水産物を県外に向けて輸送する際に、またフェリーから高速道路に乗り継ぐ際には、混雑する八戸中心市街地を通過しなければなりません。

八戸環状線は、八戸港から高速ICまでのアクセス条件を改善し、港湾の活性化や水産物の競争力強化に寄与することが期待されます。

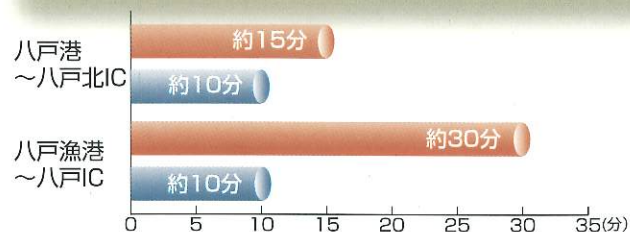


所要時間の変化(分) 環状線未整備 環状線整備



物流・広域的交流の発展に向けて

所要時間の変化(分) 環状線未整備 環状線整備



環状線未整備: 現状の一般道路を利用し、平成11年センサス旅行速度を基本として算出。
環状線整備: 八戸環状線を利用し、八戸環状線の旅行速度を60km/hとして算出。

◆コンテナ貨物取扱量の推移◆



■新幹線へのアクセス

2002年12月に東北新幹線の盛岡・八戸間が開業されました。東北新幹線の開業に伴い八戸市の観光入り込み客数が増加するなど、広域的な交流が拡大しています。

八戸環状線の整備により、新幹線八戸駅から八戸市の主要観光地である蕨島や種差海岸へのアクセス時間が短縮され、観光の活性化に寄与するものと期待されます。また、八戸環状線沿線に立地が進む大規模住宅団地や工業団地から新幹線八戸駅へのアクセス時間が短縮され、市民生活やビジネスライフの広域的な交流が盛んになると考えられます。



八戸市民の生活の利便性、快適性そして安全性の向上

渋滞緩和

渋滞が緩和され、朝・夕方の通勤もスイスイ、スムーズに走れます

八戸環状線が整備されると、中心市街地へ目的を持たない通過交通量が減少します。また、中心市街地に向かう交通は、様々な経路を選択することが可能となり、環状線内側の交通量が分散減少し、渋滞緩和が期待されます。



城下3丁目交差点の渋滞状況

■環状線が未整備の場合の道路利用形態



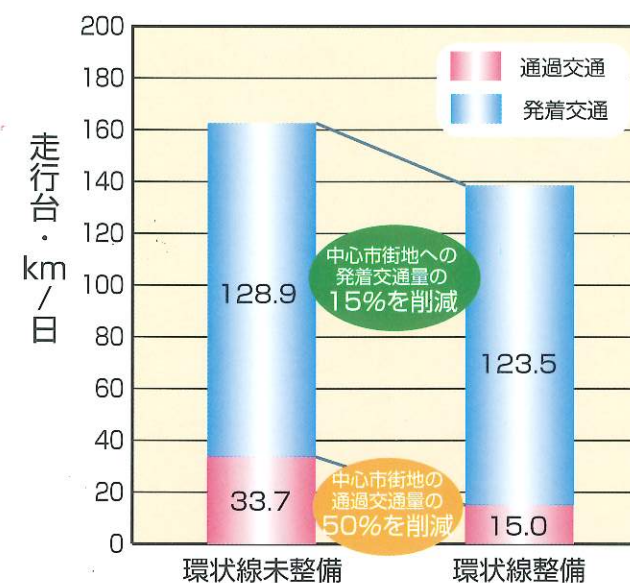
■環状線が整備された場合の道路利用形態



※八戸環状線内側の道路利用形態の変化(平成42年 交通量推計結果 青森県資料)

通過交通の減少と分散導入による効果

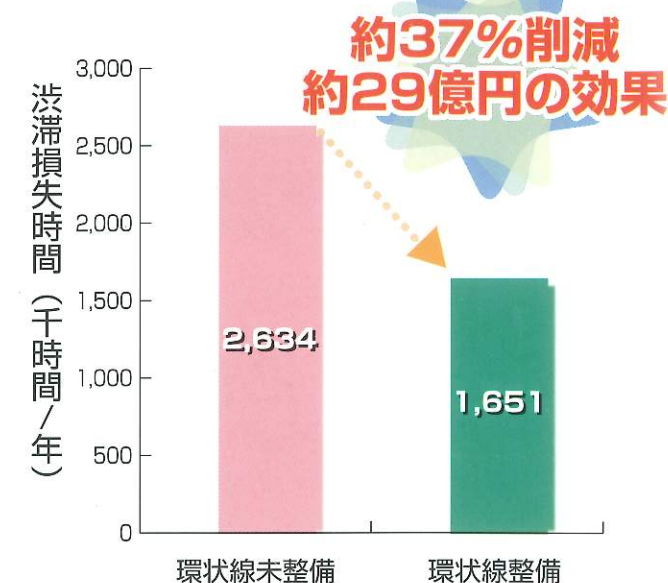
八戸中心市街地部に入り込んでいた通過交通のうち約50%が減少するとともに、中心市街地への発着交通量が約15%減少することが期待されます。



※八戸環状線内側の交通量の変化(平成42年 交通量推計結果 青森県資料)

八戸市内の渋滞損失時間の削減効果

八戸中心市街地への発着交通量が減少することで、渋滞による損失時間が、約98万時間(約37%)削減され、貨幣に換算すると約29億円の効果が期待されます。



※八戸環状線内側の渋滞損失時間の変化(平成42年 交通量推計結果 青森県資料)